

株式会社 芳養建設

2022 年度版 環境経営レポート

(対象期間: 2022 年7月1日～ 2023 年6月30日)



ナショナルトラスト発祥の地、天神崎



作成日: 2023年8月20日
発行日: 2023年9月28日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	P3
環境経営方針	
組織の概要	P4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	P5
主な環境負荷の実績	P6
環境経営目標及びその実績	P6
環境経営計画の取組結果とその評価	P6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	P9
代表者による全体の評価と見直し・指示	P9

㈱芳養建設は、ナショナルトラスト発祥の地、天神崎を擁する田辺湾にほど近い和歌山県の中南部に本拠を構え、少数精鋭の技術者集団として1967年より事業展開を進めてまいりました。世界文化遺産としても知られる「紀伊山地の霊場と参詣道」の中辺路西端の起点にも接したこの悠久の地で、主に公共工事を通じて社会基盤の整備を行なっています。そうした歴史的地理的背景のなか、今日的な社会ニーズに応えるべく、この自然豊かで住みよい地域社会に根ざし、持続可能な発展を図るため自らが環境問題に取り組み、かけがえない地域と地球の環境保全に寄与し情報発信しなければならないと考えます。

このような観点から、我社は環境省が策定した環境マネジメントシステム「エコアクション21」を2010年8月に導入し、従業員一同懸命に取り組んでいます。今回、その結果等を「環境経営レポート」に取りまとめました。皆様方にご賢察いただければ幸いです。

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、自然豊かな地域社会の中にあり、土木工事を主とした公共事業に携わり、事業展開しております。都市基盤の整備事業には、業種の特殊性から、労働環境としての安全・安心に配慮した設計・施工の取組みは勿論のこと、循環型社会の構築を目指し、資源の有効活用や省エネルギーへの取組みを徹底し、以って地球温暖化防止にチャレンジするため次の事項を環境方針として掲げ誓約します。

<行動指針>

1. 環境関連法規制を遵守し、併せて地域社会との調和に努めます。
2. 環境負荷低減のため、下記項目の環境目標を定め、具体的な実施計画をたて、継続的改善に努めます。
 - ① 地球温暖化防止に向け、徹底した省エネルギーの推進
(電力使用量、化石燃料使用量、水使用量、二酸化炭素排出量等の削減)
 - ② 循環型社会の構築に向け省資源対策と産業廃棄物の発生抑制
 - ③ 建設現場における各種建設機械の効率的使用と環境対策の推進
 - ④ 環境配慮サービスの提供
3. 環境への取組のため、社内では従業員の教育・訓練を実施し、環境経営方針及び環境情報の公開を図り、併せて地域社会の取組に協力してまいります。

制定日：2011年3月1日

改定日：2013年3月1日

改定日：2021年7月1日

改定日：2022年8月1日

代表取締役社長 畑口 龍之介

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 芳養建設
代表取締役社長 畑口 龍之介
- (2) 所在地
本 社 和歌山県田辺市明洋二丁目9番1号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代 表 畑口 龍之介 TEL:0739-22-4793
担当者 事 務 畑口 友香 TEL:同上
- (4) 事業内容
一般建築業
- (5) 事業の規模
売上高 2095 万円 (令和4年度) 令和5年4月
- | | 本 社 | | 合 計 |
|----------------------|-------------------|----------------|-------------------|
| 従業員 名 | 4 名 | 名 | 4 名 |
| 延べ床面積 m ² | 19 m ² | m ² | 19 m ² |
- (6) 事業年度 7 月 1 日 ~ 6 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 株式会社 芳養建設
対象事業所： 本 社
- 対象外： なし
活動： 土木工事、とび・土工工事、石工事、管工事、舗装工事、しゅんせつ工事、水道施設工事

□事業の紹介

- 業種
一般建設業土木工事(和歌山県知事(般-23)第12050号)
(土木工事・とび・土工工事・石工事・管工事・舗装工事・しゅんせつ工事・水道施設工事)

会社経歴

- 1967年(昭和42年) 畑口忠男が芳養建設を創立
1982年(昭和53年) 畑口龍之介が代表者として就任
1993年(平成5年) 株式会社として発足

加盟・所属団体

- 和歌山県建設業協会、紀南建設業協同組合、田辺土木業協会

資本金

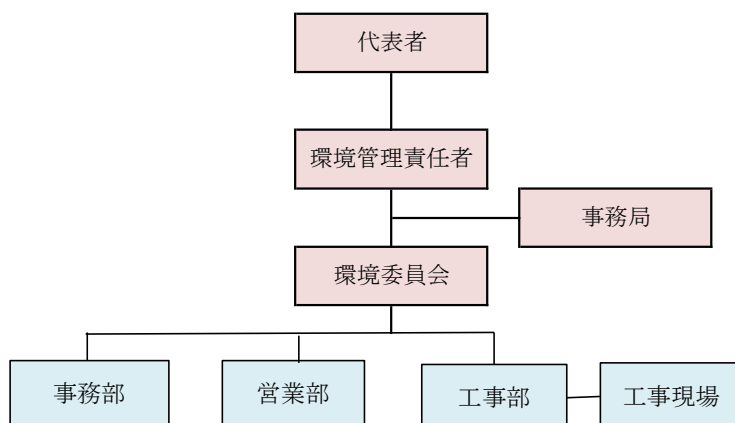
- 2,000万円

主たる設備

- パワーショベル他

所有資格等

- 1級土木施工管理技士、2級土木施工管理技士
2級管工事施工管理技士、浄化槽管理士、浄化槽設備士



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	15,387	12,836	15,272
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	46	42	37
産業廃棄物排出量	kg	107,800	57,470	44,550
総排水量	m ³	52	51	63

※二酸化炭素調整後排出係数 0.418 kg-CO₂/kWh 関西電力2017年度値
 ※負荷の実績は工事現場の電気及び本社灯油使用量を含む

□環境経営目標及びその実績

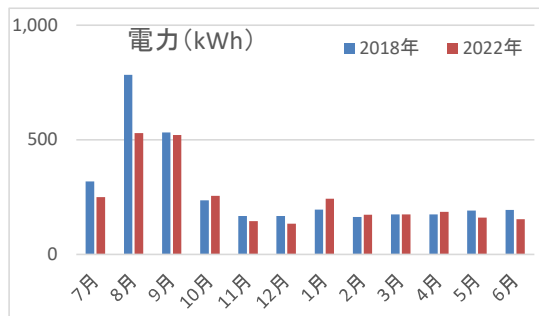
項目	年度	基準値	2022年		評価	2023年	2024年
		基準年	目標	実績		目標	目標
電力によるCO ₂ 削減 (事務所)	kg-CO ₂	1,374	1,346	1,224	○	1,319	1,305
	基準年度比	2018年	98%	89%		96%	95%
自動車重機等によるCO ₂ 削減 (現場)	kg-CO ₂	16,028	15,707	13,106	○	15,547	15,387
	基準年度比	2021年	98%	82%		97%	96%
上記CO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	17,402	17,054	14,330	○	16,866	16,692
一般廃棄物の削減 (事務所)	kg	46	44	37	○	43	42
	基準年度比	2018年	95%	80%		93%	90%
産業廃棄物の削減 (現場)	kg	57,470	55,459	44,550	○	53,447	51,723
	基準年度比	2016年	97%	78%		93%	90%
水道水の削減 (事務所)	m ³	52	49	63	×	47	46
	基準年度比	2018年	95%	122%		92%	90%
環境に配慮した工事の 推進	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力によるCO ₂ 削減(事務所(事務所))	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	基準年度2018年として立てた目標に対し89%となった。平準化ができています。クールビズ、ウォームビズ、LED化、空調などを総動員して削減できています。この傾向を続けます。夏は扇風機を併用します。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	△	
・ノー残業デーの実施	○	
・工程の待機時間短縮	○	
・空気圧縮機のアエア洩れ点検	○	



取組紹介欄

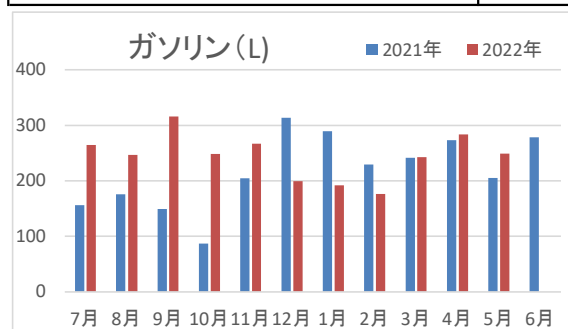
エアコンフィルターの清掃



- ・電力消費が多い設備の同時使用をできるだけ避ける
- ・西陽対策など空調負荷の低減を考える
- ・契約値を下げるできないか

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2018年	319	784	532	236	168	167	195	164	174	174	192	194
2022年	251	530	521	256	145	135	243	173	174	186	161	154

自動車・重機によるCO2削減(現場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	仕事量が減った。行動目標のアイドリングストップ、ソフトスタート、適正モードによる重機の運転、過積載禁止などを実行できました。次年度も引き続き行います。
・アイドリングストップ	○	
・車両整備の定期点検の実施	○	
・過積載の防止	○	



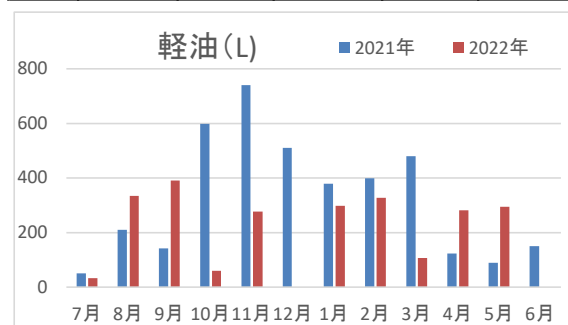
取組紹介欄

エコドライブマニュアル



- ・エコドライブの社内学習会を行なう
- ・各車両に『運転記録管理ノート』を備え付ける。
- ・空気圧管理をする

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2021年	156	176	150	87	205	314	290	230	242	274	205	278
2022年	265	247	316	249	267	200	192	176	243	284	249	0



取組紹介欄

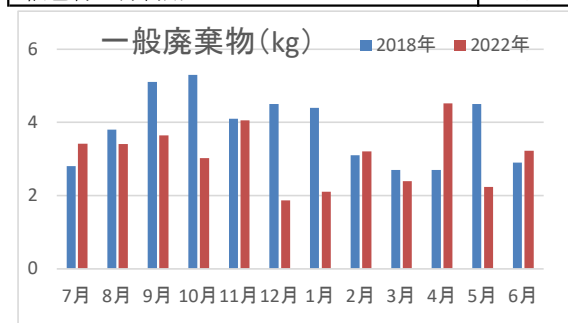
COOL CHOICE



- ・エコドライブの社内学習会では次の4つのこと
燃費、環境、安全、信頼
を学習していきます

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2021年	51	209	142	598	740	510	379	398	480	123	89	150
2022年	33	334	391	60	277	0	298	327	108	282	295	0

一般廃棄物の削減(事務所)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	紙の無駄使いをしません。焼却ごみを減らします。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



取組紹介欄

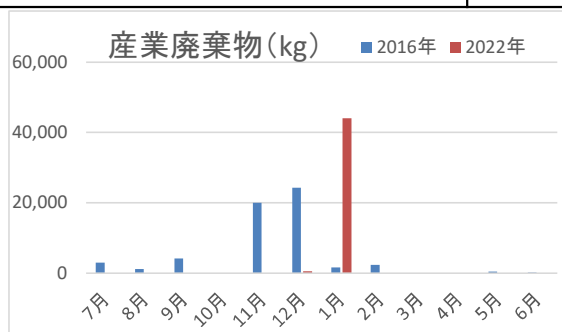
分別ボックス



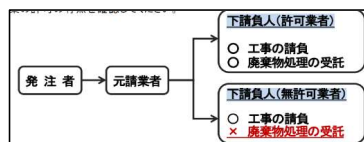
- ・分別を継続する
- ・ごみ問題を考えるためにごみ焼却場を見学してみたい

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2018年	3	4	5	5	4	5	4	3	3	3	5	3
2022年	3	3	4	3	4	2	2	3	2	5	2	3

産業廃棄物の削減(現場)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	仕事量が減って目標値の81%になった。主な品目はコン葎であり再資源化された。
・作業ミスによる廃棄量の削減		○	
・分別回収の実施		×	
・3R運動の徹底		○	



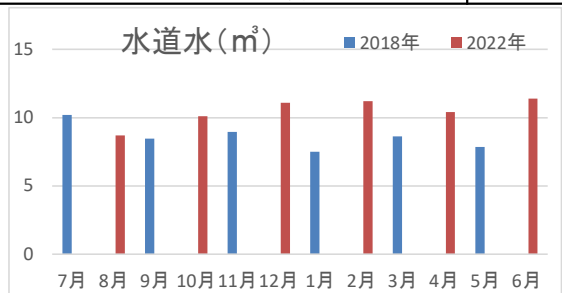
取組紹介欄
適正な産業廃棄物処理事業者に処分を委託します



- ・発生抑制、再生利用、再利用などの言葉を勉強していく。
- ・分類等で産廃業者に知恵を借りる

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2016年	3,020	1,200	4,200	0	20,000	24,300	1,700	2,350	0	0	500	200
2022年	0	0	0	0	0	550	44,000	0	0	0	0	0

水道水の削減(事務所)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	使用量は維持レベルだとおもいます。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		○	
・節水弁取り付け		△	
・自動水栓取り付け		○	
・漏れの防止ー水道メータの確認		○	



取組紹介欄
節水ポスター



- ・水道水メータを定期的に計測し記録を取っていく
- ・漏水を未然に防ぐ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2018年	10	0	8	0	9	0	8	0	9	0	8	0
2022年	0	9	0	10	0	11	0	11	0	10	0	11

環境に配慮した工事の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事ごとに重点目標を設定		○	工事ごとに重点目標を設定して取組んでいる。年間の目標6件を達成できた。
・ほこり防止、騒音・振動防止		○	
・水質汚濁防止		○	

取組紹介欄

・左のような「環境配慮チェックリスト」を使用しています
主に公共工事や指定建設作業で行って来ました
内容は

1. 作業内容等の近隣への周知
2. 住民対応窓口の設置
3. 低騒音・低振動型作業機械の採用
4. 防音パネルの設置等の対策
5. 粉塵等の飛散の防止
6. 工事車両の排気ガス対策
7. 作業時刻の厳守
民間工事でも実施を徹底したい

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

P.9

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	産業廃棄物(木くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)、マニフェスト管理、契約書
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、はつり機
振動規制法	空気圧縮機、はつり機
水質汚濁法	工事の際に油類・有害物質を流さない
浄化槽法	浄化槽の維持管理(定期点検、清掃)
オフロード法	定期検査
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年8月1日

- ① これからも各環境目標値の達成に取り組んでいく。
- ② 目標値が未達の灯油については、事務所での働き方や工事受注量や工事の種類による後処理業務などが主な原因と考えられる。今後も留意徹底していく。
- ③ 燃料についてはエコドライブ、車の無駄な使用がないように乗り合わせなどを心がける。
- ④ 産業廃棄物の目標が未達、工事内容にもよるが再生利用を積極的に進めていく。
- ⑤ 今後も環境に「過大な負担をかけない建設工法を実施していく」併せて「信頼される事業活動を続けて」いきたい。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり